

公立刈田総合病院経営強化プラン 点検・評価報告
(令和6年度)

団体名	白石市
プランの名称	公立刈田総合病院 経営強化プラン
策定日	令和6年3月
計画期間	令和6年度～令和10年度
病院名	公立刈田総合病院
所在地	宮城県白石市福岡蔵本字下原沖36
許可病床数	一般病床199床
診療科目	総合内科、循環器科、消化器科、神経内科、総合外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、泌尿器科、透析部門、健診部門

<取組の実施状況>

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

①救急医療の継続

【実施状況】

目標項目	R 6 目標値	R 6 実績値	R 5 実績値	前年比較
救急患者延べ件数 (件)	2,200	2,705	3,011	▲ 306

【取組実績】

令和6年度も引き続き病院群輪番制へ参加するなど仙南医療圏において二次救急を担い、「断らない医療」をモットーに仙南の地域医療に資するため救急医療を実施しました。令和6年度は、目標値は上回ったものの前年度の実績値と比較すると減少しています。これは、主に新型コロナウイルス感染症関連の患者が減少したことが原因となっています。

また、新たな取り組みとして、救急患者の受け入れをスムーズに行えるよう仙南広域本部へ空きベット数を報告するなど連携の強化を行っています。今後も「断らない医療」をモットーに救急医療の取り組みを継続していきます。

②健診・検診事業の推進

【実施状況】

目標項目	R 6 目標値	R 6 実績値	R 5 実績値	前年比較
健診延べ人数 (人)	2,400	6,731	2,732	3,999

【取組実績】

令和6年度は、人間ドック5,400件、子宮頸がん検診1,331件の健診業務を実施し、当初見込んでいた目標値を大きく上回ることができました。今後は、個人健診や保健指導ができる体制を整え、地域貢献ができるよう取り組みを進めます。

③回復期医療の強化

【実施状況】

目標項目	R 6 目標値	R 6 実績値	R 5 実績値	前年比較
リハビリテーション単位数 (単位)	85,000	122,824	79,292	43,532
在宅復帰率 (%) 回復期リハ病棟	85	89.7	87.4	2.3
在宅復帰率 (%) 地域包括ケア病棟	80	81.9	86.6	▲ 4.7

【取組実績】

回復期病棟の稼働率は、令和6年度平均で地域包括ケア病棟で86.9%、回復期リハビリテーション病棟で91.5%となりました。指定管理者において、リハビリセラピストの採用活動を強化したことにより、当初16名でスタートしたセラピストは、令和6年度末で29名在籍しています。「連携プラン」に基づき仙南医療圏において回復期を担う病院として、今後もその役割を果たしていき、地域完結率の向上に努めます。

④急性期医療

【実施状況】

目標項目	R 6 目標値	R 6 実績値	R 5 実績値	前年比較
整形外科手術件数（件）	120	184	78	106

【取組実績】

令和6年度は、目標値を上回る実績となったが、麻酔科医については非常勤で対応し、毎週、火曜日及び水曜日に整形外科手術を実施していました。医師確保の観点からも常勤の麻酔科医の採用活動を実施し、令和7年度から常勤職員として採用しています。

また、手術中などは、救急患者に対応できないなどの課題もあり、今後は整形外科医の増員も検討していく必要があります。

⑤周産期医療提供体制の構築

【取組実績】

小児科医を令和5年度に常勤医として採用以降、日曜日の外来診療や発達支援外来などこれまでにない取り組みを実施してきました。産婦人科医については、指定管理者において採用活動を行っているものの、応募が極めて少ない状況で、病院見学を行うも採用には至らなかったケースもありました。今後も引き続き産婦人科医師、看護師、助産師の採用活動を行い、体制構築に向けて取り組みを継続していきます。

⑥腎・透析センターの更なる充実

【実施状況】

目標項目	R 6 目標値	R 6 実績値	R 5 実績値	前年比較
透析患者延べ人数（人）	19,000	17,787	18,728	▲ 941

【取組実績】

令和6年度は、延べ患者数が前年度の実績値及び目標値を下回る結果となりました。これは、主に透析導入数の減少、長期入院を要する患者が仙南医療圏外に流出したことによるものです。

「連携プラン」において当院は、急性期機能を保持しつつ、回復期を担うこととなっています。そのため、透析患者が長期入院できる機能を有しておらず、指定管理者において長期入院が可能な慢性期の病床への転換を検討し、仙南医療圏での協議・議論を重ねたが実現しなかったため、可能な限り外来での透析治療を継続できるよう、指定管理者において通院困難者に対し送迎サービスを実施しており、今後も更なる充実を図っていきます。

⑦レスパイト入院受入の推進

【取組実績】

令和6年度におけるレスパイト入院の受入件数は17件となっており、前年度比で6件増加しています。今後も、在宅介護を担う方の一助となるよう、取り組みを継続していきます。

⑧地域包括ケアシステムの構築

【実施状況】

目標項目	R 6 目標値	R 6 実績値	R 5 実績値	前年比較
紹介率（%）	40	26.6	21.8	4.8

【取組実績】

令和6年度は、指定管理者において県内の医療機関や介護施設、行政機関などを約170箇所を訪問し、当院の機能紹介などを行いました。紹介率の目標値は下回ったものの、全体の紹介件数は、2,896件となり、そのうち白石市医師会からの紹介が全体の約61%（1,789件）を占めています。みやぎ県南中核病院のある柴田医師会からの紹介は約20%（605件）で、前年度と比較すると183件増加、仙台市などの仙南医療圏以外からの紹介は約14%（418件）となりました。

また、新たな取り組みとして、介護施設11施設と「協力施設」の協定を締結し、施設入所者の緊急時の受診や入院に対応しています。今後も、診療所や介護施設等の協力病院として入院が必要な場合のバックアップ体制を強化していきます。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

①医師・看護師等の確保

【実施状況】

職種	R 6 年度末	R 5 年度末	増減
医師	15	14	1
看護師（准看含む）	90	77	13
看護補助	29	20	9
医療技術職	63	53	10
医療事務作業補助者	17	17	0
その他	52	50	2
合計	266	231	35

②医師の働き方改革

【取組実績】

令和6年度末現在で医師事務作業補助者が17人在籍しており、医師の指示のもと、カルテ入力や診断書作成などの業務を行い、医師の負担軽減に努めています。

今後の課題としては外来だけでなく、入院診療でも医師のサポートが行えるように取り組みを行い、更なる医師の負担軽減に努めていきます。

③院内保育所における子育て支援

【取組実績】

令和5年度から対象年齢の拡充、保育料の減額、延長保育などの取り組みを行い、令和6年度末現在で10人の子供たちが利用しており、保育士は4人在籍しています。

今後も離職率や休職率の低減、モチベーションの維持、満足度の向上の観点から継続し実施していくとともに、病児病後児保育の実施についても検討していきます。

(3) 経営形態の見直し

【取組実績】

経営の効率化を図るため、令和5年4月1日から指定管理者制度を導入。

経営形態の見直しから期間が経過していないことから、本プラン期間中における経営形態の見直しは行わず、事業の効果検証を行うこととします。

(4) 一般会計負担の原則

【取組実績】

指定管理者制度の利用料金制を採用し管理運営を行っているため、市の会計においては、診療報酬などの自主財源はありません。そのため、病院建設時の地方債の償還金、指定管理に係る委託料や交付金は一般会計から繰り入れる必要があります。

(5) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み

【取組実績】

令和6年度は引き続き発熱外来を実施したほか、感染管理委員会を毎月1回開催し、ICTラウンドを行い、感染蔓延を起こさない環境整備を実施。また、感染症法第38条第2項の規定に基づき県知事から第二種協定指定医療機関としての指定を受けており、今後は近隣の介護施設と感染症に関して連携の強化を図っていきます。

(6) 施設設備の最適化

①施設・設備の適正管理

【取組実績】

令和6年度は、市において実施した3階病棟床の改修工事が完了し、消防点検で以前より指摘のあった消防設備の更新工事や非常用発電機の更新工事を実施しました。建設から20年以上が経過し、更新箇所が多くなっていますが、令和5年度に策定した「個別施設計画」に沿って、今後も計画的に更新をしていくこととしています。

②デジタル化への対応

【取組実績】

電子カルテシステムの更新は令和8年6月を目途に進めています。
また、マイナンバーカードの健康保険証利用促進については、窓口で啓発活動を実施。マイナンバーカードの利用件数は、令和6年度で4,270件（11.2%）だったが、令和6年12月以降は20%以上で推移している状況となっています。

(7) 経営の効率化

①経営の効率化に係る数値目標

項目/年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)
＜収支改善に係るもの＞							
経常収支比率	99.40%	95.50%	100.40%	100.50%	100.80%	100.80%	100.80%
修正経常収支比率	86.50%	84.70%	91.70%	95.00%	95.30%	95.30%	95.30%
＜医療機能に係るもの＞							
病床稼働率（年間平均）	74.50%	64.40%	86.70%	76.10%	76.10%	76.10%	76.10%
疾患別リハビリテーション科の単位数（年間）	79,292単位	85,000単位	122,824単位	90,000単位	100,000単位	110,000単位	120,000単位
整形外科手術件数（年間）	78件	120件	184件	120件	120件	120件	120件
＜医療の質に係るもの＞							
在宅復帰率（回復期リハビリテーション病棟）（6か月平均）	87.40%	85.00%	89.70%	85.00%	85.00%	85.00%	85.00%
在宅復帰率（地域包括ケア病棟）（6か月平均）	86.60%	80.00%	81.90%	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%
＜連携の強化に係るもの＞							
紹介率（年間平均）	21.80%	40.00%	26.60%	40.00%	40.00%	40.00%	40.00%
＜その他＞							
透析患者受入延べ人数（年間）	18,728人	19,000人	17,787人	19,000人	19,000人	19,000人	19,000人
救急患者受入延べ人数（年間）	3,011件	2,200人	2,705人	2,200人	2,200人	2,200人	2,200人
健診受入延べ人数（年間）	2,732人	2,400人	6,731人	3,600人	4,000人	4,400人	4,800人

②目標達成に向けた具体的な取組

テーマ	施策項目	対象	R6年度実績	
病院再編	休棟病棟の再開	回復期機能、腎・透析センターの機能強化に資する病棟体制の構築	看護師配置基準を満たす人員の確保	回復期リハビリテーション病棟の看護師を増員。回復期病棟の平均入院患者数46.5人（前年8.6人増）と増加した。 介護事業所との連携を強化し施設側が安心して紹介できる環境を整えた。
			宮城県地域医療構想との整合性を図る	
			仙南医療圏の各病院への説明と理解	
			産婦人科・小児科医師採用	
	周産期医療提供体制の構築		看護師・助産師採用	産婦人科医の採用活動を継続して行っているが応募が極めて少ない状況であった。小児科においては、発達支援外来を開始した。
			NICU等周産期医療提供に必要な機器の準備	
			職員研修	
	広告・宣伝	病院利用者・他医療機関への案内の強化	ホームページの更新	随時、ホームページの更新を行ったほか、「かったほっとふれす」を年4回発行し、広報しろいし配布時に全戸配布。新任の医師紹介や病院の紹介記事などを掲載した。
			病院広報誌（かったほっとふれす）の再開	
入院案内（配布物）のリニューアル				
収益改善	外来・健診利用者数の増加の取組	健診利用者の二次健診の促進	ほぼ全ての対象を達成できたが、消化器系の二次健診を消化器内科医が1名であったため、全てを受け入れることができなかった。今後は常勤の消化器内科医採用に努めたい。	
		健診業務の整理		
		外来、健診看護師の採用（婦人科1名・健診1名）		
		超音波検査ができる臨床検査技師の採用（女性技師2名）		
	患者数の増加	入院患者数増加の取組	救急患者の診療	病院群輪番制実績 令和6年度 74人（52日）
			急性期病棟から他病棟への転棟の促進	令和7年2月より空床状況を仙南広域本部に毎朝10時にFAXで報告開始。
			地域包括ケア病棟へのレスパイト入院の増加	増患のために仙南医療圏だけでなく仙台医療圏まで営業活動を行った。今まではほとんどなかった医療機関からの紹介が少しではあるが増加傾向である。
			健診利用者の内視鏡検査（二次健診）による入院	
			在宅診療所等のバックベッドの役割を担う	
			整形外科手術の件数増加（月10件以上）	整形外科手術 令和6年度 147件（月平均12.25件）

テーマ	施策項目	対象	R6年度実績
収益改善	整形外科手術	手術器具、機器の整備	常勤の麻酔科医の採用活動を行い、令和7年4月からの採用が決定した。
		麻酔科医師の採用	
		入院から手術、術後の病棟移動の体系化	
	人材の確保（一部再掲）	休棟病棟再開に向けた看護師、助産師の採用	令和6年度採用者数 看護師 13名 セラピスト 7名 (PT4名、OT1名、ST2名) 医療事務 1名
		産婦人科・小児科医師採用（各診療科3名程度）	
		リハビリテーションの充実のためのセラピスト採用（10名以上）	
		脳血管疾患等リハビリテーションI取得のための作業療法士の採用	
		外来、健診対応看護師の採用	
		医療事務管理職候補の採用（1名程度）	
		医療事務（SE）の採用（1名程度）	
超音波検査ができる臨床検査技師の採用（女性技師2名）			
リハビリテーション	回復期リハビリテーション病棟平均単位数6単位以上取得	セラピストを7名採用するも平均入院患者数が月間10名程度伸びたため、平均単位数は4単位程度にとどまった。	
透析患者数受入れ数の増加	患者送迎体制の構築	10人の送迎を実施	
コスト削減	委託業務の見直し	事業委託・保守業務の見直し	受付事務を全て直接雇用として採用し接遇に関する意識改革を行った。
	医療事務業務整理	業務仕様書の見直し	外来・入院の請求業務もほぼ直接雇用とし、法人側の指示が速やかに反映されるように取り組んだ。

③収支計画（指定管理者（公立刈田総合病院分））

単位：千円

項目	令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)
病院事業収益 (①+②+③)	3,113,724	3,537,111	3,450,978	3,662,863	3,675,587	3,675,587	3,675,587
経常収益 (①+②)	3,090,186	3,537,111	3,450,978	3,662,863	3,675,587	3,675,587	3,675,587
医業収益①	3,059,268	3,105,539	3,418,509	3,431,291	3,444,015	3,444,015	3,444,015
入院収益	1,485,769	1,748,606	1,935,695	2,044,296	2,057,021	2,057,021	2,057,021
外来収益	1,037,255	1,218,060	1,143,421	1,278,963	1,278,963	1,278,963	1,278,963
その他医業収益	536,244	138,872	339,393	108,031	108,031	108,031	108,031
医業外収益②	30,918	431,572	32,469	231,572	231,572	231,572	231,572
指定管理者委託料	0	100,000	0	100,000	100,000	100,000	100,000
その他医業外収益	30,918	31,572	32,469	31,572	31,572	31,572	31,572
市交付金	0	300,000	0	100,000	100,000	100,000	100,000
特別利益③	23,538	0	0	0	0	0	0
病院事業費用 (④+⑤+⑥)	3,109,906	3,709,685	3,437,043	3,655,951	3,655,951	3,655,951	3,655,764
経常費用 (④+⑤)	3,109,906	3,709,685	3,437,043	3,655,951	3,655,951	3,655,951	3,655,764
医業費用④	3,107,762	3,708,204	3,433,924	3,654,470	3,654,470	3,654,470	3,654,470
給与費	1,526,368	2,016,917	1,789,198	2,016,917	2,016,917	2,016,917	2,016,917
材料費	441,417	458,665	528,888	506,776	506,776	506,776	506,776
経費	1,139,977	1,229,543	1,115,838	1,127,697	1,127,697	1,127,697	1,127,697
うち委託費	433,316	461,369	424,949	461,369	461,369	461,369	461,369
うちその他	706,661	768,174	690,889	666,329	666,329	666,329	666,329
その他医業費用	0	3,080	0	3,080	3,080	3,080	3,080
医業外費用⑤	2,144	1,481	3,119	1,481	1,481	1,481	1,294
その他医業外費用	2,144	1,481	3,119	1,481	1,481	1,481	1,294
特別損失⑥	0	0	0	0	0	0	0
経常損益	▲ 19,720	▲ 172,574	13,935	6,912	19,636	19,636	19,823
純損益	3,818	▲ 172,574	9,718	6,912	19,636	19,636	19,823